

(公表用)

条件付一般競争入札 質問・回答書

工事名 国補 朝陽小学校 屋内運動場改築外建築主体工事

質問内容		回答
1	A-85 仮設計画図 仮設物一覧表で仮囲い、敷鉄板、ゲート、ゴムマットが杭地業工事より引継ぎ利用となっていますが、各仮設物のリース業者が不明です。各業者を教えてください。	リース業者の想定はありません。杭工事は入札前であるため、契約後、杭工事の受注者にご確認ください。
2	A-09 仕上表 (1) 材料表 断熱材で有孔板内部 断熱材 (C) グラスウール 32 kg/m <sup>3</sup> 品 t=100 とあるのですが、金抜内訳書ではグラスウール 32 kg/m <sup>3</sup> の項目がありません。屋内運動場の仕上表で2階キャットウォークの壁仕上げが有孔シナ合板張りとなっていますが、金抜内訳書を正として考えて宜しいでしょうか。	金抜内訳書 P63 のとおりグラスウール 16 kg/m <sup>3</sup> で積算してください。契約後、必要な場合には施工協議とします。
3	金抜 P147 A-78 金抜内訳書でカーブミラー及びアルミキャスターゲートが工事完了時に復旧するようになっているのですが、現在撤去された物は、学校敷地内の近くの場所に保管されていると考えて宜しいでしょうか。	カーブミラー、アルミキャスターゲートについては、今後杭工事にて撤去となります。学校敷地内に保管する予定ですが、詳細な場所については未定です。
4	EXP. J 金物の耐火帯は不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
5	金抜 P22, 74 A-19, 20, 21, 23 金抜内訳書で土間下断熱材敷き 厚さ 25 mmとなっているのですが、設計図では断熱材 t=30 となっています。金抜内訳書を正として考えて宜しいでしょうか。(屋内運動場・多目的ホール)	金抜内訳書のとおり t=25 で積算してください。契約後、必要な場合には施工協議とします。
6	金抜 P74, 77 A-22 金抜内訳書で断熱材打込み t25 mmとなっているのですが、設計図では断熱材 t=30 となっています。金抜内訳書を正として考えて宜しいでしょうか。(多目的ホール)	金抜内訳書のとおり t=25 で積算してください。契約後、必要な場合には施工協議とします。
7	A-80, 81, 84 外構工事の下記コンクリート配合が不明です。御指示願います。 ・土間コンクリート ゴムチップ舗装 ・屋外機基礎 A, B	土間コンクリート及び屋外機基礎の設計基準強度は Fc24-18-20 です。
8	金抜 P145 A-80, 81 外構工事 ゴムチップ舗装の色は黒色と考えて宜しいでしょうか。	ゴムチップ舗装はカラーを想定しています。

9	金抜 P146 A-80, 83 金抜内訳書 外構工事でグレーチング 横断用 T-14 955×717 ボルト固定、枠共とあるのですが、A-83 参考図において枠共のボルト固定方法の詳細が不明です。詳細を御提示願います。	グレーチングは置き敷きタイプです。金抜内訳書 摘要欄のボルト固定及び枠共は記載の誤りです。
10	金抜 P154 金抜内訳書 別紙 00-0025 内部足場で内部仕上足場（手すり先行方式）枠組棚足場 715 m <sup>2</sup> とあるのですが、数量的に内部壁面仕上用の枠組足場と思われるのですが、棚足場なのでしょうか。どの部分の足場と考えるのか御指示願います。	アリーナ部の棚足場を想定しています。
11	金抜 P154, 156 金抜内訳書 別紙 00-0025 内部足場で内部仕上足場 脚立足場 71.6 m <sup>2</sup> とあるのに対し、別紙 00-0028 仮設材運搬費で仮設材運搬（内部仕上足場 棚足場）（手すり先行方式）71.6 m <sup>2</sup> となっています。内部足場は脚立足場、棚足場（手すり先行方式）どちらを正としたら宜しいでしょうか。	棚足場を想定しています。金抜内訳書のとおり 内部仕上足場 脚立足場 71.6 m <sup>2</sup> 、仮設材運搬費 仮設材運搬（内部仕上足場 棚足場）（手すり先行方式）71.6 m <sup>2</sup> で積算してください。 契約後、施工協議とします。
12	金抜 P166 金抜内訳書 別紙 00-0044 内部足場で内部仕上足場（手すり先行方式）枠組棚足場 109 m <sup>2</sup> とあるのですが、どの部分の棚足場と考えるのか御指示願います。	多目的ホール棟 2階学習室 A・B・C の天井高さ 4 m を超える部分です。なお、4 m 以下の部分については脚立足場を計上しています。
13	A-04 特記仕様書（2） 金属工事 軽量鉄骨天井下地で、屋外の軒天及びピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強※図示とあるのですが図示が見当たりません。どの程度の耐風圧性を考慮した補強が必要なのか御指示願います。	天井ふところが 750 mm 程度のため補強は不要と想定しています。 契約後、必要な場合には別途施工協議とします。
14	工事用車両の駐車スペース 30 台程度必要と思われるのですが指示願います。 仮囲い内では、工事に支障があると思われるので検討願います。	場内での駐車が困難な場合は、受注者で乗り合いの励行や場外の借地等により確保していただくこととなります。
15	現場事務所の設置スペースを検討されていれば指示願います。 仮囲い内では、工事に支障があると思われるので検討願います。	場内への設置を想定していますが、設置が困難な場合は、状況により施工協議の対象とします。
16	工事車両駐車スペース及び現場事務所の設置スペースを場外とした場合、借地料は別途協議としてよろしいですか。	現場事務所の設置スペースについては、状況により施工協議の対象とします。

17	受水槽基礎工事における仮設計画が設計内訳書にありません。共通仮設費(積上分)で見積りをしますがよろしいですか。	A-87 仮設計画図は参考図とし、積上分には計上しないでください(交通誘導員 59 人は金抜内訳書のとおり積算してください)。契約後、施工計画により必要となる場合には、別途協議とします。
18	計画建物の南側上空に架空線があり、工事に支障があると思われます。 移設工事は工事対象であるのか指示願います。	A-85 仮設計画図 敷地南西に存する中電柱 00 エ 092 から敷地東側に伸びる架空線については、現在移設中であり工事対象外となります。
19	土工事における埋戻し・盛り土に杭発生土とありますが、杭工事での予定発生土量及び置き場所を指示願います。場内仮置きでは建築主体工事に支障があると思われますので検討願います。	杭工事での予定発生土量は 803 m <sup>3</sup> で、仮囲い北東部分に置く計画です。
20	屋内運動場、多目的ホール、受水槽基礎の土工事における残土処分について設計内訳書にありません。場外処分として見積りますがよろしいですか。	発生土については、場外搬出の運搬費を計上しており、処分費は想定していません。金抜内訳書のとおり積算してください。発生土の再利用を図るために、工事間流用を積極的に行ってください。
21	基礎躯体工事において杭の位置ずれに伴う補強が発生した場合は、補強費用は別途としてよろしいですか。	よろしいです。
22	土間下及び 1 階スラブ下打ち込み断熱材の厚さは、設計内訳書 25mm となっていますが、設計図(A-19・22)の表記 30mm でよろしいですか。	金抜内訳書のとおり t=25 で積算してください。契約後、必要な場合には施工協議とします。
23	多目的ホールのトイレ廻り壁断熱材(グラスウール)は、設計内訳書 24Kg 品となっていますが、設計図(A-30)の表記 32Kg 品でよろしいですか。	金抜内訳書のとおりグラスウール 24 kg/m <sup>3</sup> で積算してください。契約後、必要な場合には施工協議とします。
24	多目的ホールの屋外機置場の防水が、設計内訳書ではウレタン塗膜防水となっていますが、設計図(A-31)の表記は「超速硬化ウレタン複合防水」です。どちらですか。	ウレタン塗膜防水です。 A-31 図の超速硬化ウレタン複合防水は記載の誤りです。
25	外構工事において計画建物北側及び西側の自由勾配側溝 600 は別途発注とありますが、建築主体工事の工程に合わせて施工されると考えてよろしいですか。	よろしいです。
26	外構撤去工事において設計図面(A-78)南西側既存ネットフェンス撤去が、設計内訳書にありません。 見積り工事対象であるか指示願います。	見積対象外としてください。
27	外構工事において計画建物東側のグラウンド復旧が、設計内訳書にありません。 見積り工事対象であるか指示願います。	見積対象外としてください。 仮設材撤去後、状況をみて別途協議とします。

28	外構工事において西側に既存ネットフェンス H6.0m 及び支柱がありますが、撤去工事は見積り工事対象であるか指示願います。	見積対象外としてください。
29	外構工事において西側に既存高木がありますが、撤去工事は見積り工事対象であるか指示願います。	見積対象外としてください。
30	外構工事において南西側に既設建物「北長池器具置場」防災倉庫が在りますが、移設又は撤去は工事対象であるか指示願います。	工事対象外としてください。
31	外構工事において南西側に既設「火の見櫓」が在りますが、移設又は撤去は工事対象であるか指示願います。	工事対象外としてください。
32	外構工事において南西側に既設電柱が在りますが、移設計画の有無を支持願います。	南西角部の電柱については、中電柱 00 エ 092 の移設先の電柱であり、今後の移設はありません。 なお、中電柱 00 エ 092 については撤去されます。